

令和7年度 WCS用稲（専用品種）栽培暦

佐伯市農業技術者協議会 作物部会

月	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月																									
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																							
品種																																												
参考																																												
栽培管理のポイント	①圃場選定と土作り <圃場選定> <ul style="list-style-type: none"> 作業効率と異品種混入防止のため、集団化・団地化 水管理が十分に出来る圃場で栽培する <土作り> <ul style="list-style-type: none"> 連作圃場では、堆肥・ケイ酸資材等を投入 堆肥投入量目安(牛ふん:1~2t/10a、鶏ふん:0.3t/10a 土改王(60kg/10a)、とれ太郎(60kg/10a) ミネラルG・珪カル・珪鉄(200kg/10a) 						④肥培管理 <施肥量(窒素成分 kg/10a)> 基肥 : 穂肥 (7kg)(4kg) ※晩期穂肥は施用しない ※ 穂肥は収量増、秋落ち対策、飼料品質向上のため施用 ※ 穂肥施肥時期(めやす) 出穂30日前 遅くとも幼穂長10mm(出穂約20日前)まで						⑤雑草・病虫害防除 <農薬使用の考え方> ・栽培期間を通して使用できる農薬(除草剤含む)に制限がある。 ・収穫が早いので農薬の使用時期は、ラベル記載の「収穫〇日前まで」を守る <雑草防除> <ul style="list-style-type: none"> 雑草の混入がないよう、雑草防除を徹底する <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>除草剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初中期一発除草剤</td> <td>ウイニングラン、ラオウ等</td> </tr> <tr> <td>中後期除草剤</td> <td>ヒエ：クリンチャー(EW・粒) 広葉：バサグラン(液・粒) ヒエ・広葉：クリンチャーバスメ液剤</td> </tr> </tbody> </table>						種類	除草剤名	初中期一発除草剤	ウイニングラン、ラオウ等	中後期除草剤	ヒエ：クリンチャー(EW・粒) 広葉：バサグラン(液・粒) ヒエ・広葉：クリンチャーバスメ液剤																				
	種類	除草剤名																																										
	初中期一発除草剤	ウイニングラン、ラオウ等																																										
	中後期除草剤	ヒエ：クリンチャー(EW・粒) 広葉：バサグラン(液・粒) ヒエ・広葉：クリンチャーバスメ液剤																																										
②育苗 <ul style="list-style-type: none"> 種子消毒(温湯消毒または薬剤消毒)は必ず行う 浸種日数は、品種・状態によって異なるため要注意 播種量：下記品種は大粒なので主食用より播種量増 <table border="1"> <tr> <td>つきすずか</td> <td>主食用品種の10%増</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 播種は、主食用 → 飼料用の順に主食用への混入防止 播種は、移植予定日の20日前(中山間地は23日前) 						つきすずか	主食用品種の10%増	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基 肥</th> <th>穂 肥</th> <th colspan="3">肥料成分量</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>N</th> <th>P</th> <th>K</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化成肥料14-14-14 50kg/10a</td> <td>尿素 10kg/10a</td> <td>11.2</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>エムコート477 80kg/10a</td> <td></td> <td>11.2</td> <td>13.6</td> <td>13.6</td> </tr> <tr> <td>WCS用一発エムコート266 50kg/10a</td> <td></td> <td>11.0</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> ※側条施肥は基肥2割減 ※WCS用一発エムコート使用の場合はPKが少ないため、土改王などの土壤改良剤との併用が望ましい						基 肥	穂 肥	肥料成分量					N	P	K	化成肥料14-14-14 50kg/10a	尿素 10kg/10a	11.2	7.0	7.0	エムコート477 80kg/10a		11.2	13.6	13.6	WCS用一発エムコート266 50kg/10a		11.0	3.0	3.0	一部 の品種は 一部 の除草剤に対して 非常に強い薬害 が生じます。成分に <ベンゾピシクロン><テフリルトリオン><メソトリオン> を含む薬剤は使わないようにする					
つきすずか	主食用品種の10%増																																											
基 肥	穂 肥	肥料成分量																																										
		N	P	K																																								
化成肥料14-14-14 50kg/10a	尿素 10kg/10a	11.2	7.0	7.0																																								
エムコート477 80kg/10a		11.2	13.6	13.6																																								
WCS用一発エムコート266 50kg/10a		11.0	3.0	3.0																																								
③移植 <ul style="list-style-type: none"> 生育量・登熟確保のため、6月中に移植する 坪50株程度の疎植栽培(約16箱/10a程度) (極端な疎植は、収量減となるので行わない) 苗箱施肥は原則実施(規定量50g/箱を厳守！) <table border="1"> <tr> <td>スクラム箱粒剤</td> <td>いもち病・紋枯れ病、ウンカ・コブノメイガ・フタオビコヤガ等</td> </tr> </table>						スクラム箱粒剤	いもち病・紋枯れ病、ウンカ・コブノメイガ・フタオビコヤガ等	④本田水管理 <ul style="list-style-type: none"> 移植後は主食用米と同様の水管理を実施 中干しは十分に実施 大型機械での収穫作業がしやすいように、強めに干す 中干し以降は、出穂期前後を除き間断灌水 出穂後は、収穫に備えて落水管理を基本とする 						<病虫害防除> <ul style="list-style-type: none"> 紋枯病、アオムシ(アノバ、イソバ、イソバ)、ウンカに注意しましょう <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象病虫害</th> <th>薬剤名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スミリガイ</td> <td>スクミノン、ジャンボたにくん、スクミンバイト3</td> </tr> <tr> <td>いもち病</td> <td>ブラシン、オリゼメート粒剤</td> </tr> <tr> <td>紋枯病</td> <td>モンカット、リンバー 等</td> </tr> <tr> <td>アオムシ類</td> <td>トレボン</td> </tr> <tr> <td>ウンカ</td> <td>スタークル</td> </tr> </tbody> </table> ※ 防除薬剤は他にもあります。JAや普及員に相談を！！						対象病虫害	薬剤名	スミリガイ	スクミノン、ジャンボたにくん、スクミンバイト3	いもち病	ブラシン、オリゼメート粒剤	紋枯病	モンカット、リンバー 等	アオムシ類	トレボン	ウンカ	スタークル													
スクラム箱粒剤	いもち病・紋枯れ病、ウンカ・コブノメイガ・フタオビコヤガ等																																											
対象病虫害	薬剤名																																											
スミリガイ	スクミノン、ジャンボたにくん、スクミンバイト3																																											
いもち病	ブラシン、オリゼメート粒剤																																											
紋枯病	モンカット、リンバー 等																																											
アオムシ類	トレボン																																											
ウンカ	スタークル																																											
⑥収穫・調製 <ul style="list-style-type: none"> 大型機械で収穫がしやすいように、出穂後は落水を始め、以降は落水管理を徹底する。 																																												

栽培管理履歴の記入(作業日・使用資材等)は必ず行いましょう！！